

清水建設研究所報第14号に掲載した論文『断面が急変する板の有限要素法による2次元弾性解析』の一部に誤りがありましたので、ここにお詫びして訂正いたします。

訂正箇所 74頁 §4の上から6～9行目

訂正文 (下記のように訂正してください)

とおくと、 (x, y) 座標系に関するひずみ $\boldsymbol{\varepsilon}$ 、応力 $\boldsymbol{\sigma}$ と
 (\bar{x}, \bar{y}) 座標系に関するひずみ $\bar{\boldsymbol{\varepsilon}}$ 、応力 $\bar{\boldsymbol{\sigma}}$ の関係は、

$$\{\bar{\boldsymbol{\varepsilon}}\} = [\boldsymbol{T}_\varepsilon] \{\boldsymbol{\varepsilon}\}, \quad \dots (21)$$

$$\{\bar{\boldsymbol{\sigma}}\} = [\boldsymbol{T}_\sigma] \{\boldsymbol{\sigma}\}, \quad \dots (22)$$